

ピカイチ先生の  
生活経営セミナー

2016年02月

制御システムから学ぶ安全  
(② 分散制御と多様化)

ネクストライフ・コンサルティング

〒975-0038

福島県南相馬市原町区日の出町167-3

info@next-life-consult.com

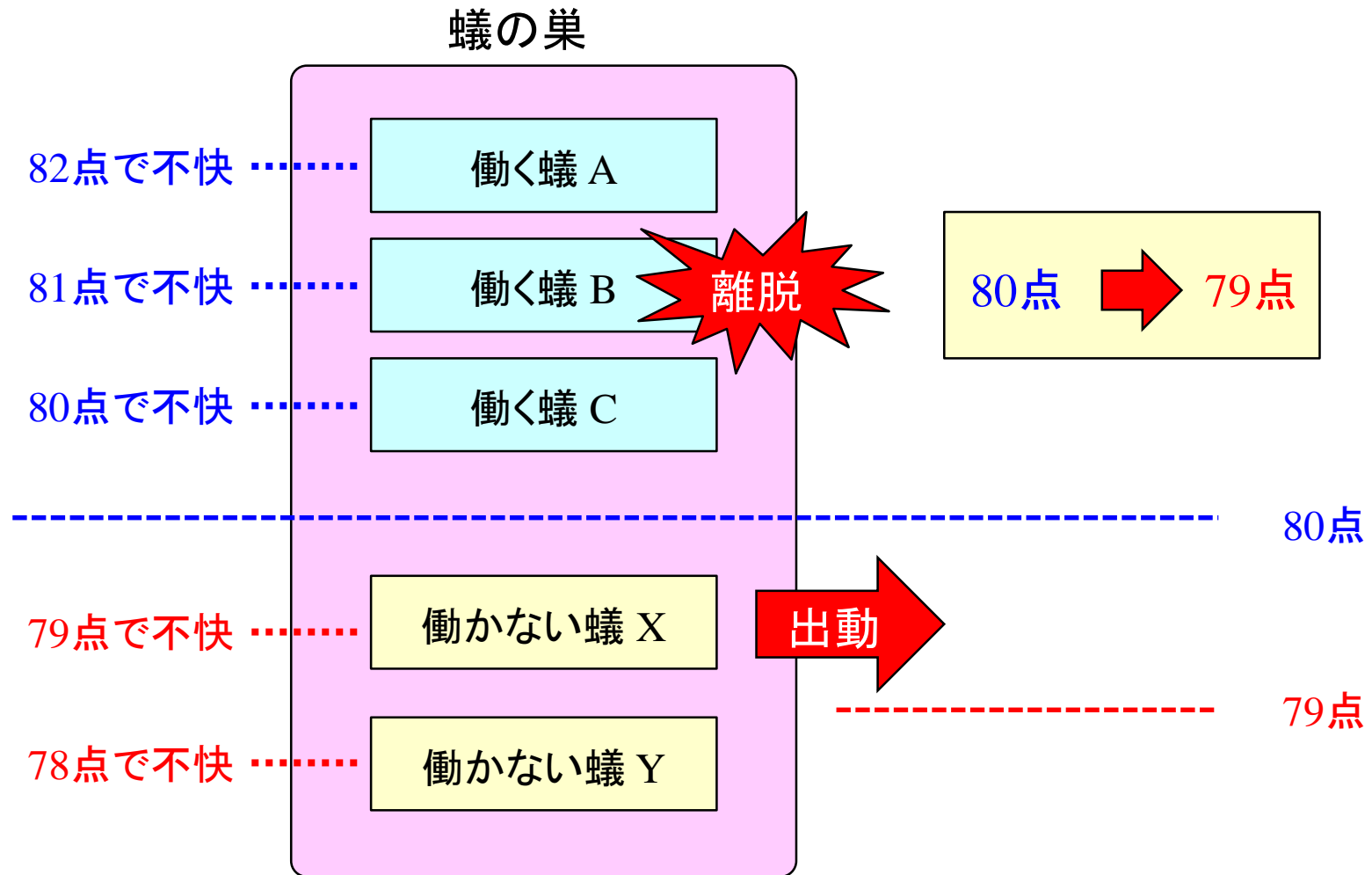


ピカイチ先生

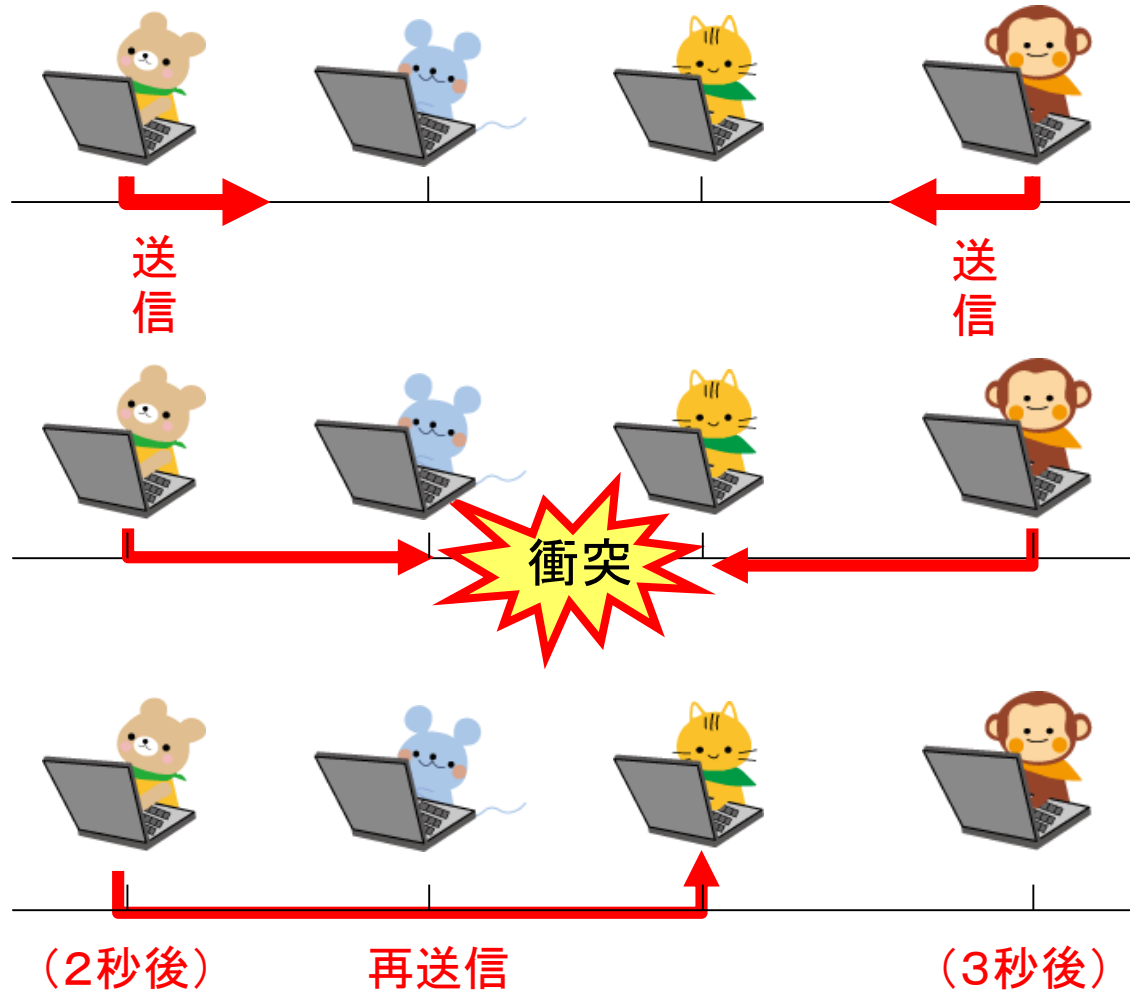
ピカイチ先生

検索

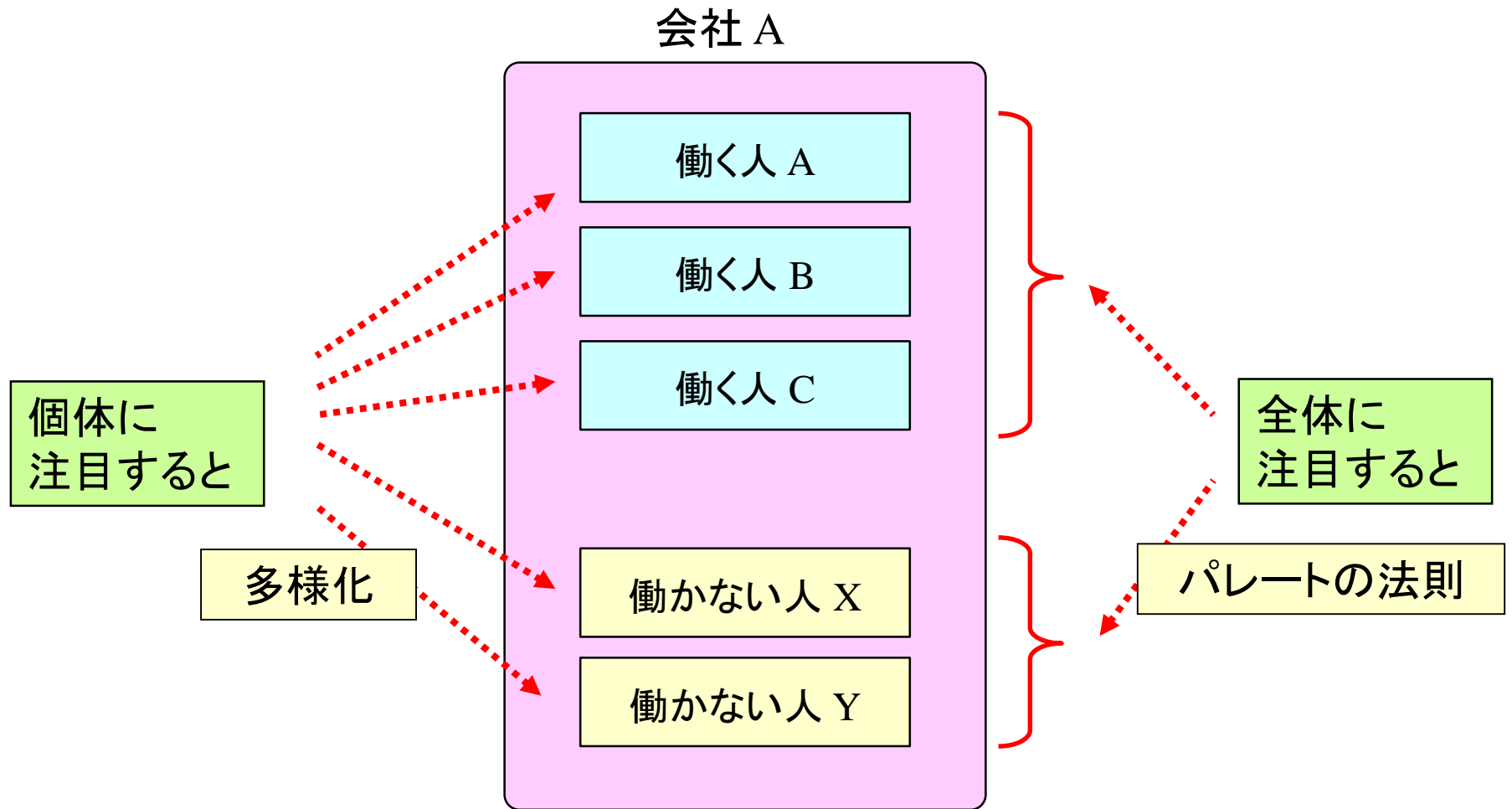
# 働かない蟻が出動するとき



# インターネットの制御方式



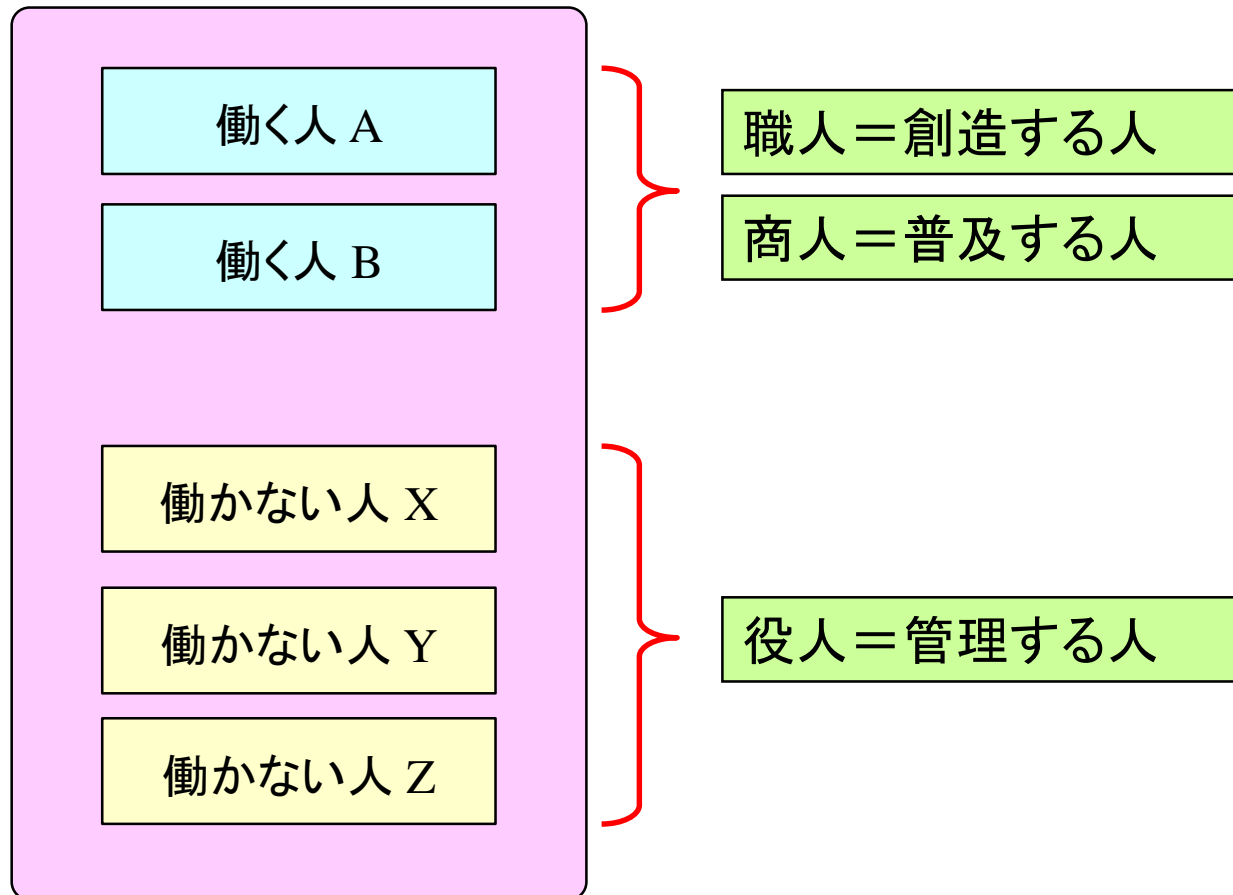
# 働く人と働かない人



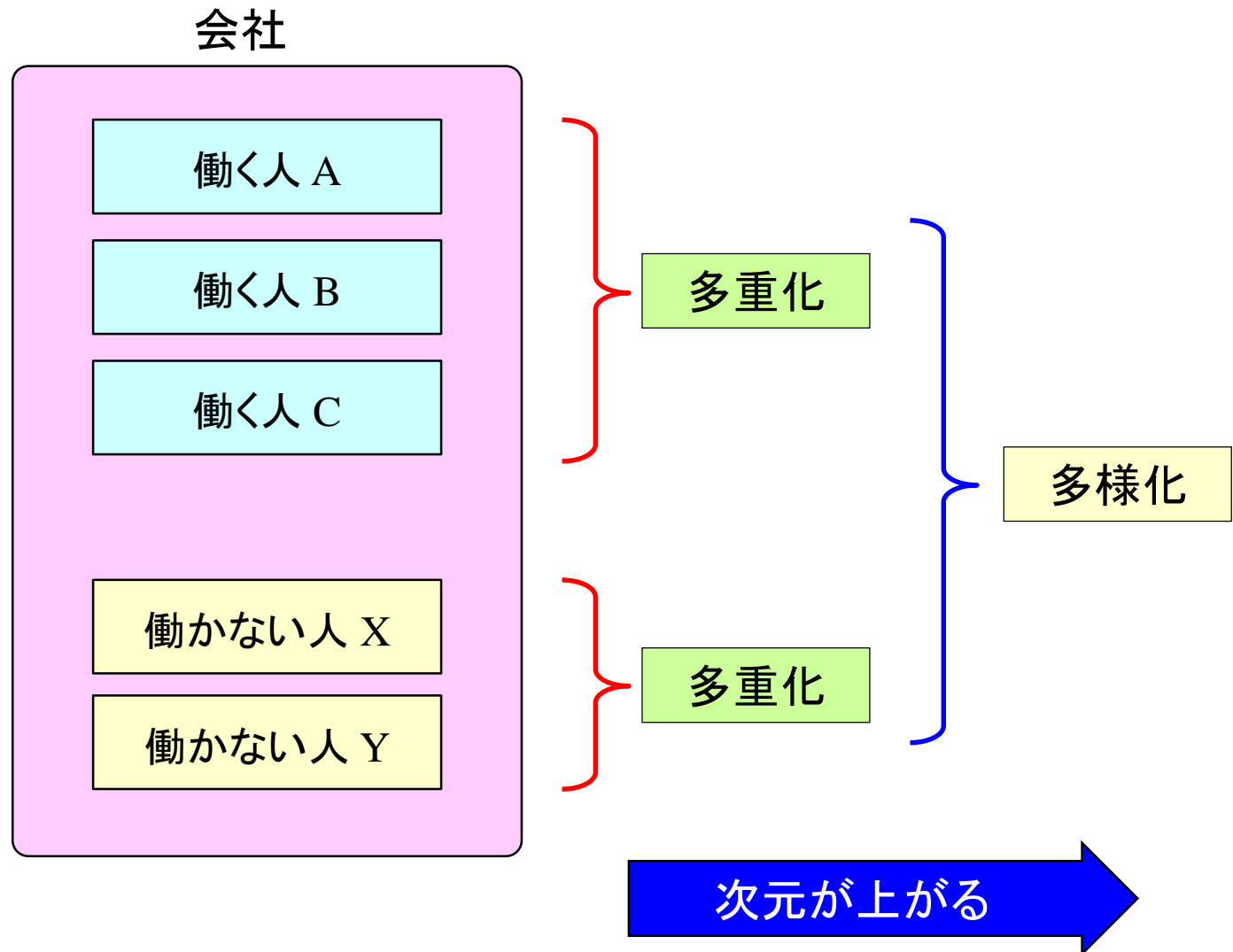
# いまの経済状況を考える

物差し(評価基準)を「ものづくり」にすると・・・

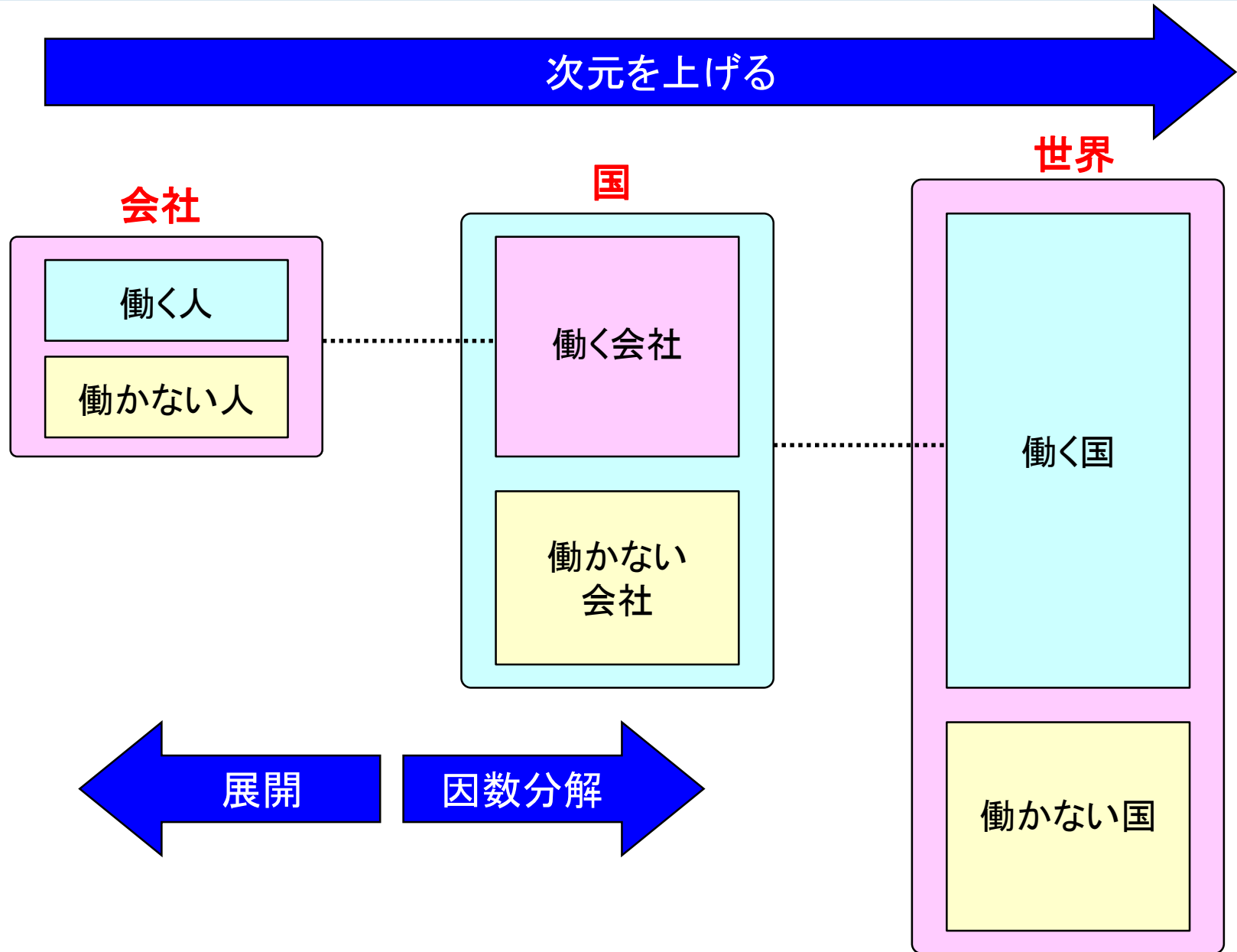
会社 A



# 多重化と多様化



# フラクタル現象



# 分散制御の前提

## 【自立】

- 外部から遮断できる

## 【自活】

- 自分で見極める  
『現場』は、「たぶん」「だろう」では動かない
- 自分で考える  
『現場』は、「なに？」で気づき、「なぜ？」で始まる
- 自分で判断する  
『現場』は、「できない」ことは「できない」  
「やりたくない」ことでも「やる」



# なぜ東大は欧米の大学を超えられないのか

日本の技術は、地方から出てくると思っている。東大ではなく、東北大学とか、奈良先端科学技術大学院大学などには、古来の日本精神や日本の哲学が残っているからです。

彼らは、ありのままを見て、ありのままを感じて、それを素直に研究に生かしている。東大みたいに「フランスの例を参考にしました」とか「アメリカからとってきました」なんてことは言わない。何でも本山はダメなんですよ。

帝国大学をつくったとき、学力は「欧米並みとす」と決めた。東大はまだそれをやっているから、大学改革でも「欧米以上とす」というのができないのです。

欧米以上にするにはどうしたらいいかっていうと、欧米のことを勉強せずに、遊んでいればいいんです。

西洋の人たちは、「日本人の子供は、何でそんなにオリジナリティがあるんですか？」って言う。西洋の理論では説明できない。もともとオリジナルティがあるんだから、日本は素直にやればいい。

東北は雑音がないから、ありのままに対象と向き合う。だから、優れた技術ができる。

「世界は邪悪に満ちている、だが日本は・・・」(日下公人・高山正之著)より